

# 八尾市 八尾市市民活動支援ネットワークセンター「つどい」の充実に向けて 市民活動団体アンケート調査結果 概要版

## ■調査概要

○調査時期:令和5年10月4日~10月16日 ○調査方法:アンケート解答用紙・インターネットによる回答 ○調査対象:つどい登録団体 ○回答状況:114人(46.7%)【回答内訳:用紙回答97人、WEB回答17人】

## ■概要版の見方

○回答は、各質問の回答者数(n)を基数とした百分率(%),ないしは回答の実数で示しています。また、「SA」は単数回答の設問、「MA」は複数回答の設問となっています。  
○小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。また、複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えます。

## ■団体概要(※その他、無回答を除く)

○団体の種別:任意団体(84.2%)、NPO法人(10.5%)、その他の法人(3.5%)⇒任意団体の法人格取得意向:あり(1.0%)、なし(83.3%)、わからない(14.6%)  
○主な活動分野:保健・医療・福祉(22.8%)、社会教育(3.5%)、まちづくり(2.6%)、観光(0.0%)、農山漁村・中山間地域の振興(0.0%)、学術・文化・芸術・スポーツ(27.2%)、環境保全(4.4%)、災害救援(0.9%)、地域安全(0.9%)、人権擁護・平和推進(2.6%)、国際協力(2.6%)、男女共同参画社会の形成促進(0.9%)、子どもの健全育成(17.5%)、情報化社会の発展(0.0%)、科学技術(0.9%)、経済活動の活性化(0.9%)、職業能力開発・雇用機会拡充(0.0%)、消費者保護(0.0%)、市民活動団体の運営に関する連絡、助言又は援助(0.9%)

○活動拠点:事務所あり(22.8%)、事務所なし(74.6%)

○活動頻度:ほぼ毎日(10.5%)、週1~2日程度(17.5%)、月1~2日程度(41.2%)、年に数日程度(16.7%)

○主な活動エリア:友人の集まりやサークル等で決まった場所はない(9.6%)、町会全域(2.6%)、小学校区全域(6.1%)、八尾市内全域(60.5%)、大阪府内全域(10.5%)、全国(6.1%)

○予算規模(2023年度):10万円未満(4.2%)、50万円未満(22.8%)、100万円未満(7.9%)、300万円未満(4.4%)、1,000万円未満(10.5%)、1,000万円以上(4.4%)

○主な収入:会費(58.8%)、寄附金・協賛金(23.7%)、自主事業収入(13.2%)、補助金・助成金(21.9%)、行政からの委託費(8.8%)

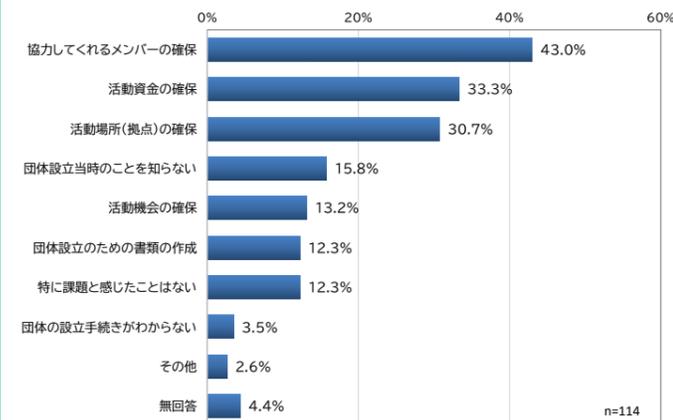
○専従スタッフの有無:専従スタッフ(有給)がいる(14.9%)、専従スタッフ(無給)がいる(21.9%)、専従スタッフはいない(64.0%)

○主に活動されている方の年代:10代以下(6.1%)、20代(7.0%)、30代(10.5%)、40代(20.2%)、50代(29.8%)、60代(41.2%)、70代(47.4%)、80代以上(11.4%)

## 1. 団体の代表として考えや活動状況

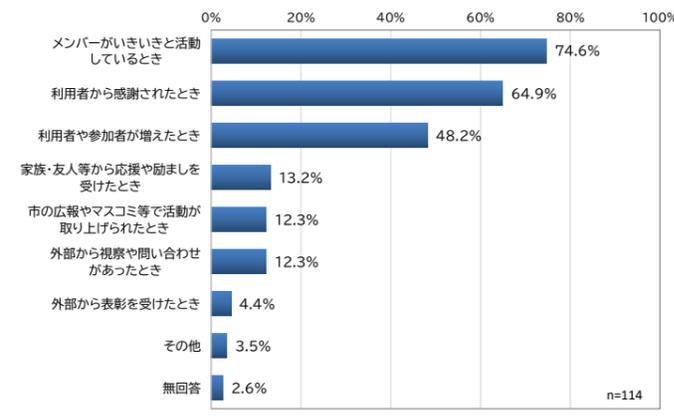
### ■団体の設立にあたっての課題【MA】

●「協力してくれるメンバーの確保」が43.0%で最も多く、次いで「活動資金の確保」が33.3%、「活動場所(拠点)の確保」が30.7%が続いています。



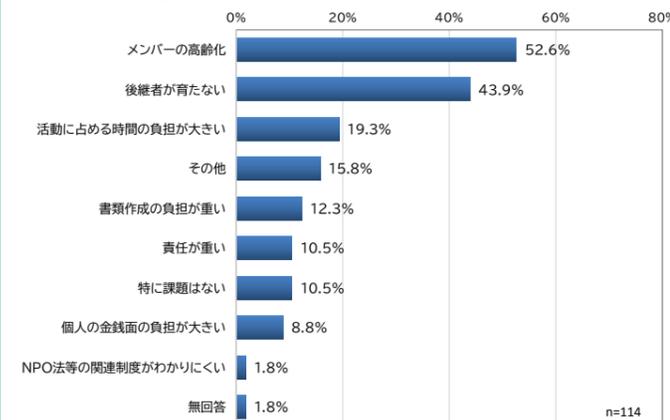
### ■活動の“やりがい”を感じる時【MA】

●「メンバーがいそいそと活動しているとき」が74.6%で最も多く、次いで「利用者から感謝されたとき」が64.9%、「利用者や参加者が増えたとき」が48.2%が続いています。



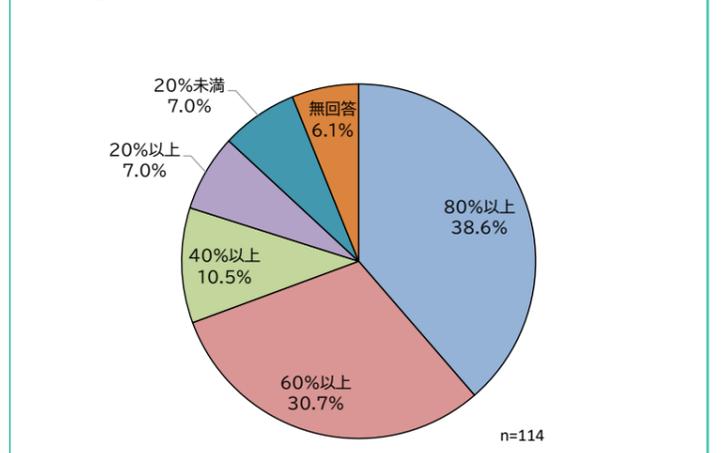
### ■代表として抱えている課題【MA】

●「メンバーの高齢化」が52.6%で最も多く、次いで「後継者が育たない」が43.9%、「活動に占める時間の負担が大きい」が19.3%が続いています。



### ■団体の設立目的の達成状況【SA】

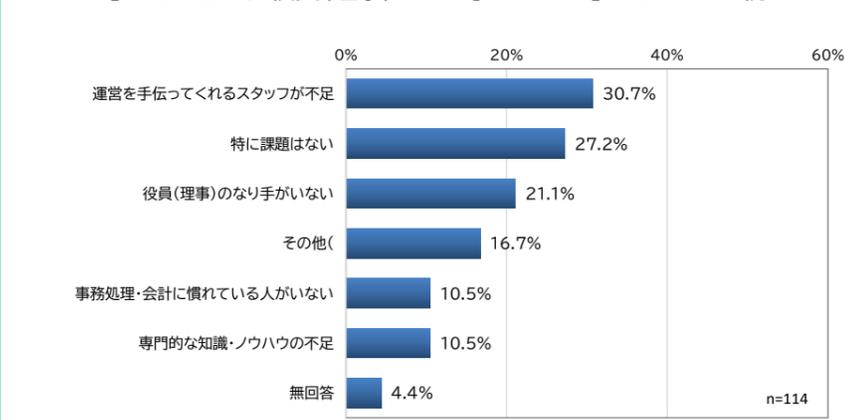
●「80%以上」が38.6%、「60%以上」が30.7%となっています。



## 2. 団体の活動状況や活動に関する課題(1)

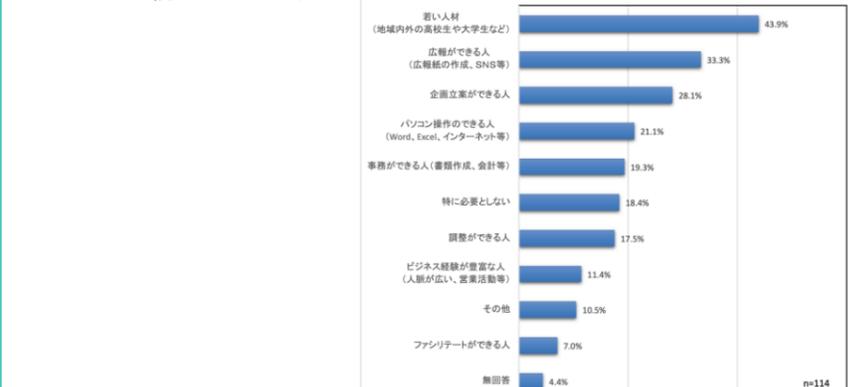
### ■団体の人材に関する課題【MA】

●「運営を手伝ってくれるスタッフが不足」が30.7%で最も多く、次いで「特に課題はない」が27.2%、「役員(理事)のなり手がいない」が21.1%が続いています。



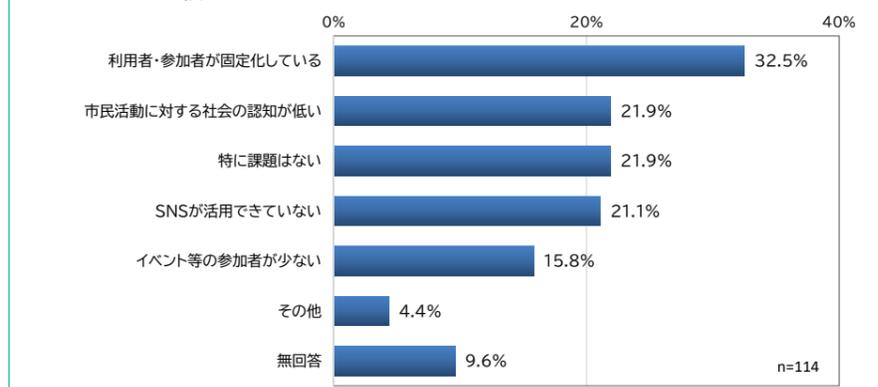
### ■運営に関わってほしい人材【MA】

●「若い人材(地域内外の高校生や大学生など)」が43.9%で最も多く、次いで「広報ができる人(広報紙の作成、SNS等)」が33.3%、「企画立案ができる人」が28.1%が続いています。



### ■広報や参加者に関する課題【MA】

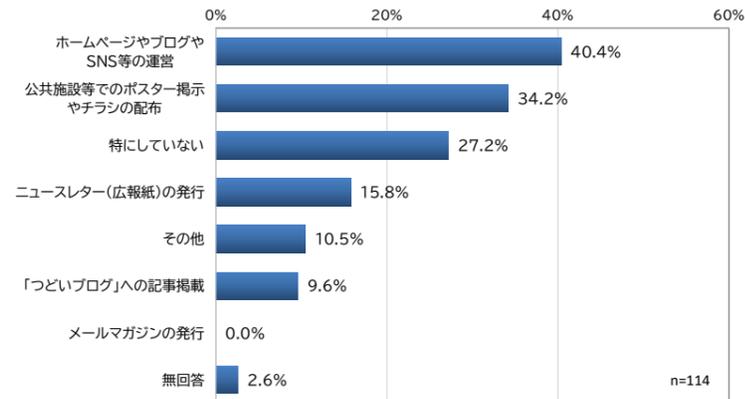
●「利用者・参加者が固定化している」が32.5%で最も多く、次いで「市民活動に対する社会の認知が低い」が21.9%、「特に課題はない」が21.9%、「SNSが活用できていない」が21.1%が続いています。



## 2. 団体の活動状況や活動に関する課題(2)

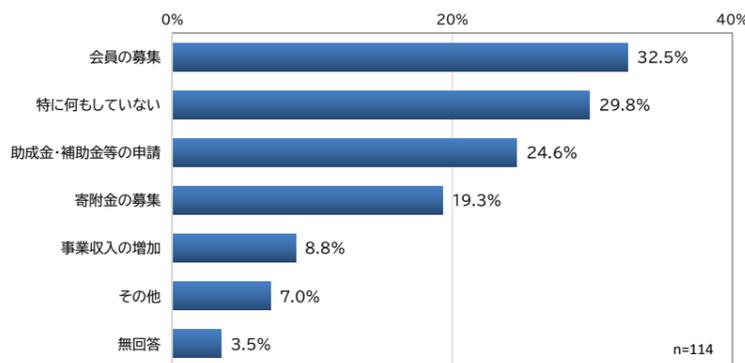
### ■情報発信の方法【MA】

●「ホームページやブログや SNS 等の運営」が 40.4%で最も多く、次いで「公共施設等でのポスター掲示やチラシの配布」が 34.2%、「特にしていない」が 27.2%で続いています。



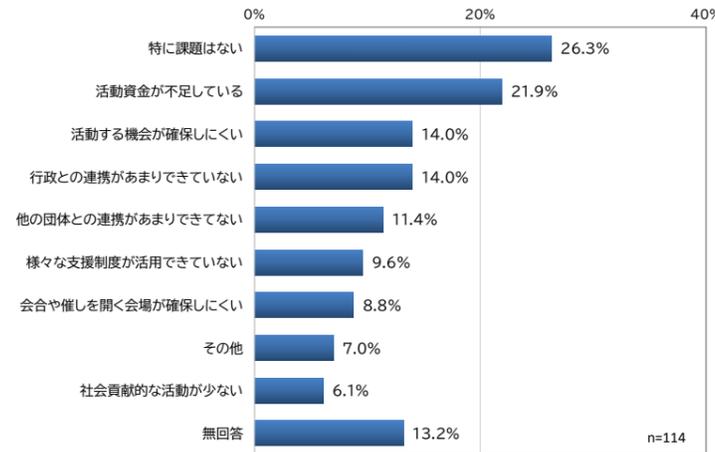
### ■必要な資金を確保するための活動【MA】

●「会員の募集」が 32.5%で最も多く、次いで「特に何もしていない」が 29.8%、「助成金・補助金等の申請」が 24.6%で続いています。



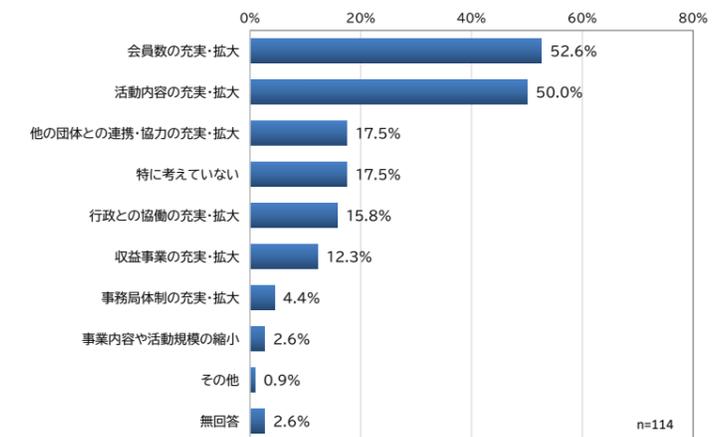
### ■団体の運営に関する課題【MA】

●「特に課題はない」が 26.3%で最も多く、次いで「活動資金が不足している」が 21.9%、「活動する機会が確保しにくい」、「行政との連携があまりできていない」が 14.0%で続いています。



### ■今後、力を入れていく取り組み【MA】

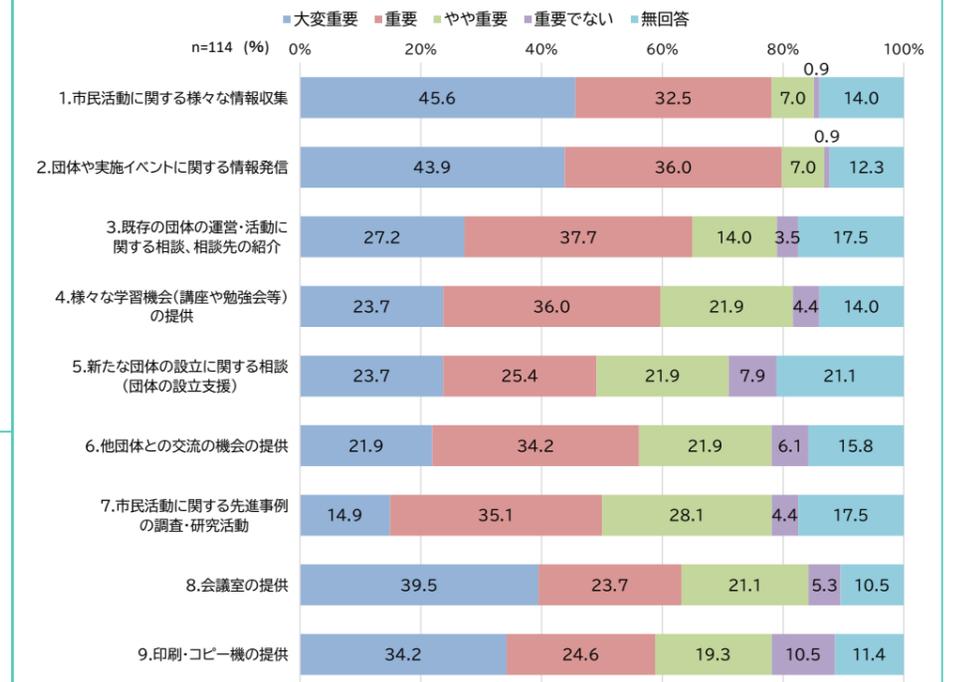
●「会員数の充実・拡大」が 52.6%で最も多く、次いで「活動内容の充実・拡大」が 50.0%、「他の団体との連携・協力の充実・拡大」、「特に考えていない」が 17.5%で続いています。



## 3. 市民活動支援ネットワークセンター「つどい」で充実を望まれるサービス(1)

### ■「つどい」が果たす重要な役割【SA】

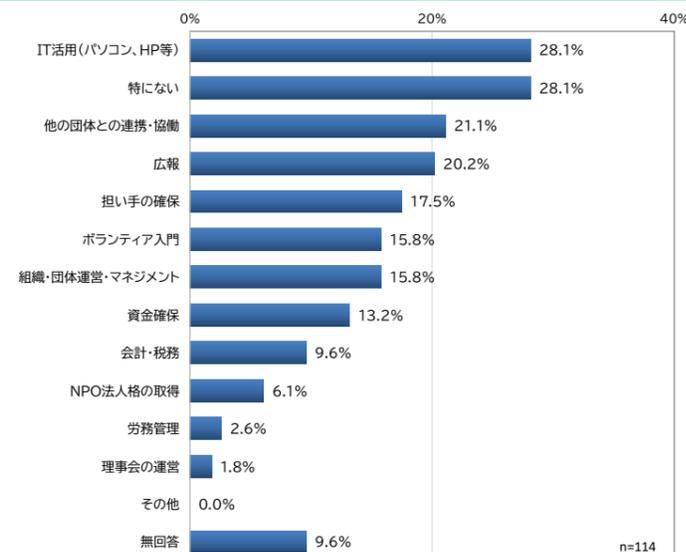
●重要度が高い役割は、「2.団体や実施イベントに関する情報発信」、「1.市民活動に関する様々な情報収集」、「3.既存の団体の運営・活動に関する相談、相談先の紹介」となっています。



## 3. 市民活動支援ネットワークセンター「つどい」で充実を望まれるサービス(2)

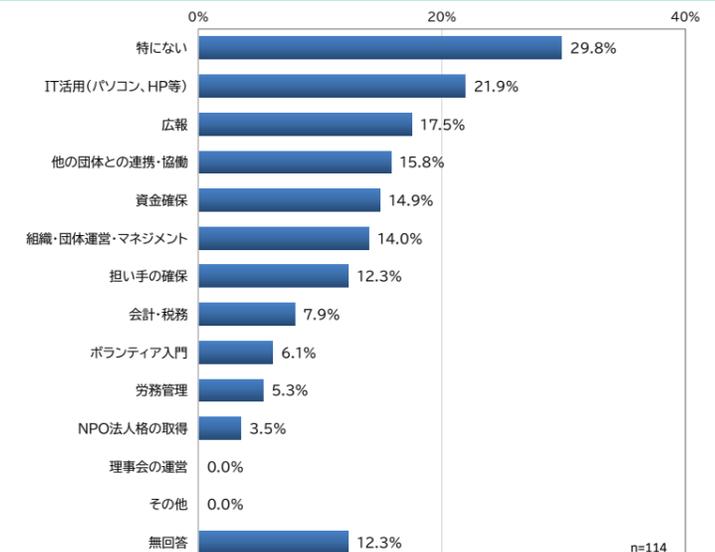
### ■セミナーや相談:開催を希望するセミナーのテーマ【MA】

●「IT活用(パソコン、HP等)」、「特にない」が 28.1%で最も多く、次いで「他の団体との連携・協働」が 21.1%、「広報」が 20.2%で続いています。



### ■セミナーや相談:専門家に相談したいこと【MA】

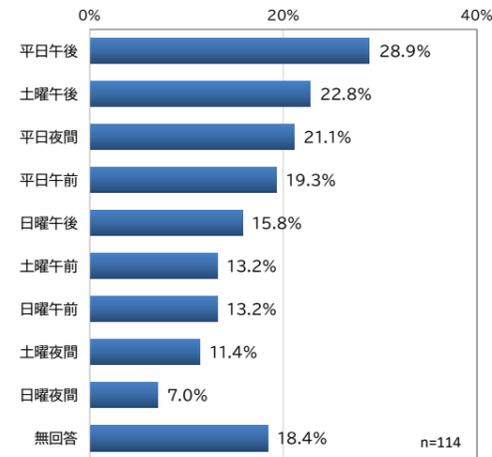
●「特にない」が 29.8%で最も多く、次いで「IT活用(パソコン、HP等)」が 21.9%、「広報」が 17.5%で続いています。



### 3. 市民活動支援ネットワークセンター「つどい」で充実を望まれるサービス(3)

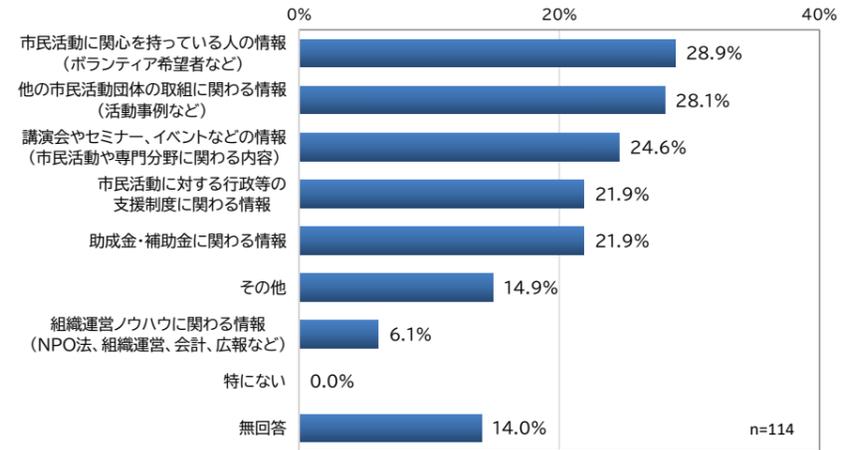
#### ■セミナーや相談:セミナーや相談に参加しやすい時間帯【MA】

●「平日午後」が 28.9%で最も多く、次いで「土曜午後」が 22.8%、「平日夜間」が 21.1%が続いています。



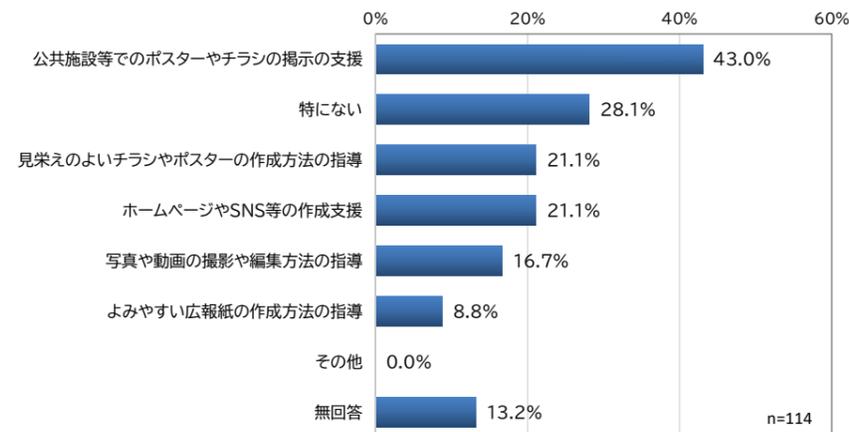
#### ■活動に必要な情報や情報発信:必要な情報【MA】

●「市民活動に関心を持っている人の情報(ボランティア希望者など)」が 28.9%で最も多く、次いで「他の市民活動団体の取組に関わる情報(活動事例など)」が 28.1%、「講演会やセミナー、イベントなどの情報(市民活動や専門分野に関わる内容)」が 24.6%が続いています。



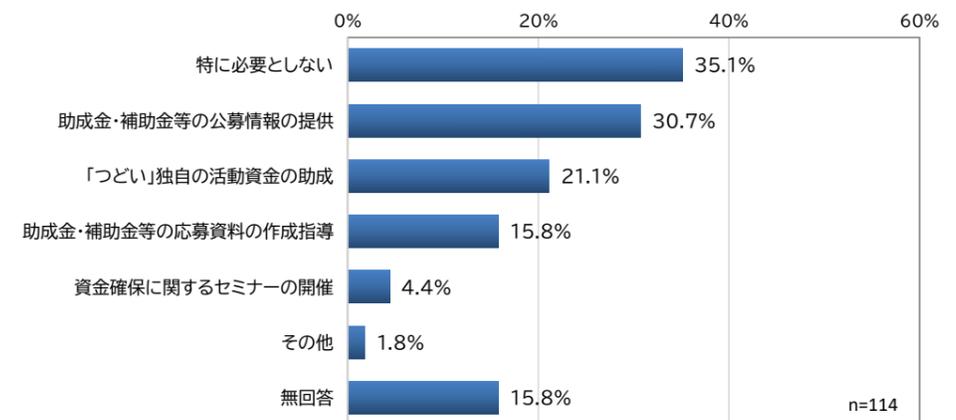
#### ■活動に必要な情報や情報発信:情報発信に関連して希望する支援【MA】

●「公共施設等でのポスターやチラシの掲示の支援」が 43.0%で最も多く、次いで「特にない」が 28.1%、「見栄えのよいチラシやポスターの作成方法の指導」、「ホームページやSNS等の作成支援」が 21.1%が続いています。



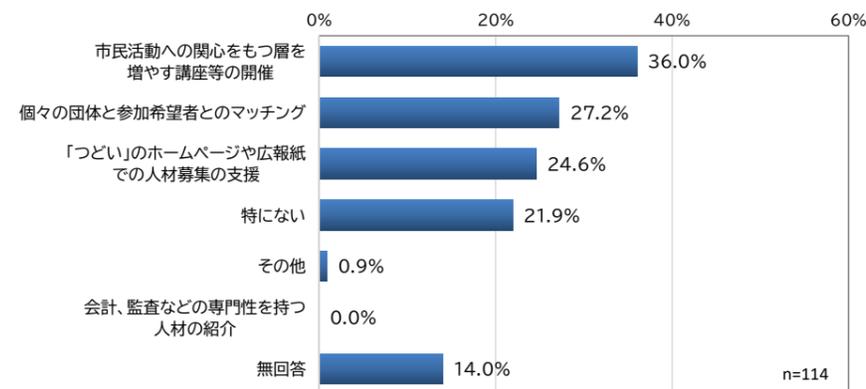
#### ■必要となる資金の確保:資金確保にあたって希望する支援【MA】

●「特に必要としない」が 35.1%で最も多く、次いで「助成金・補助金等の公募情報の提供」が 30.7%、「つどい」独自の活動資金の助成」が 21.1%が続いています。



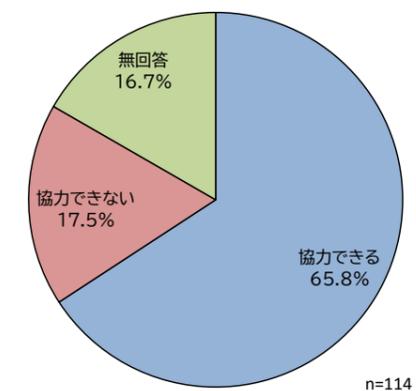
#### ■人材の育成:人材育成・確保にあたって希望する支援【MA】

●「市民活動への関心をもつ層を増やす講座等の開催」が 36.0%で最も多く、次いで「個々の団体と参加希望者とのマッチング」が 27.2%、「つどい」のホームページや広報紙での人材募集の支援」が 24.6%が続いています。



#### ■人材の育成:「つどい」が体験参加を実施する場合に協力が可能かどうか【SA】

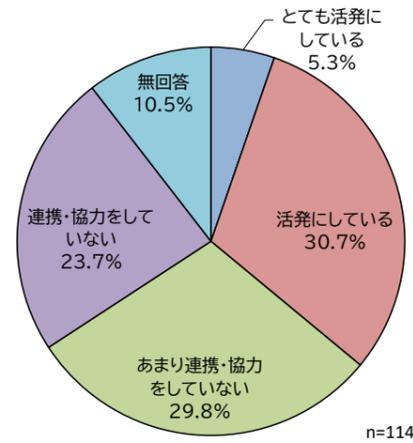
●「協力できる」が 65.8%、「協力できない」が 17.5%となっています。



#### 4. 多様な団体との連携・協力について

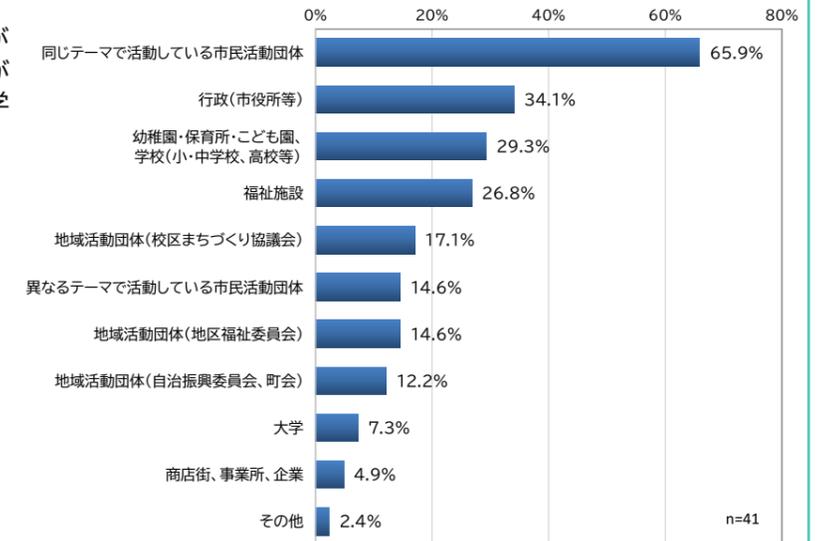
##### ■多様な団体と連携・協力しているか【SA】

- 「活発にしている」が 30.7%、「あまり連携・協力をしていない」が 29.8%となっています。



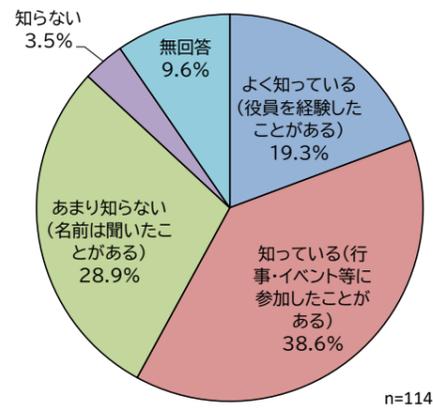
##### ■連携・協力している団体【MA】

- 「同じテーマで活動している市民活動団体」が 65.9%で最も多く、次いで「行政(市役所等)」が 34.1%、「幼稚園・保育所・こども園、学校(小・中学校、高校等)」が 29.3%で続いています。



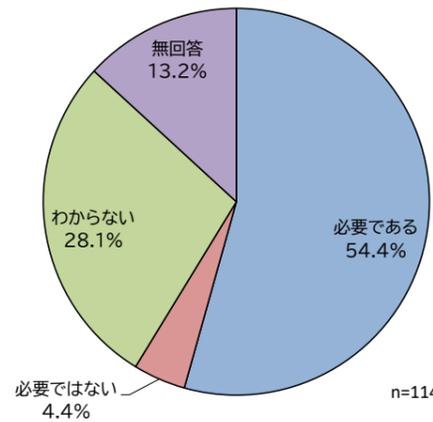
##### ■地域活動団体(自治振興委員会、校区まちづくり協議会、地区福祉委員会等)の認知状況【SA】

- 「知っている(行事・イベント等に参加したことがある)」が 38.6%、「あまり知らない(名前は聞いたことがある)」が 28.9%となっています。



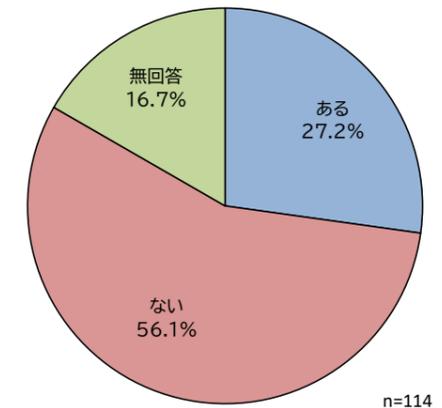
##### ■地域活動団体との連携・協力の必要性【SA】

- 「必要である」が 54.4%、「わからない」が 28.1%となっています。



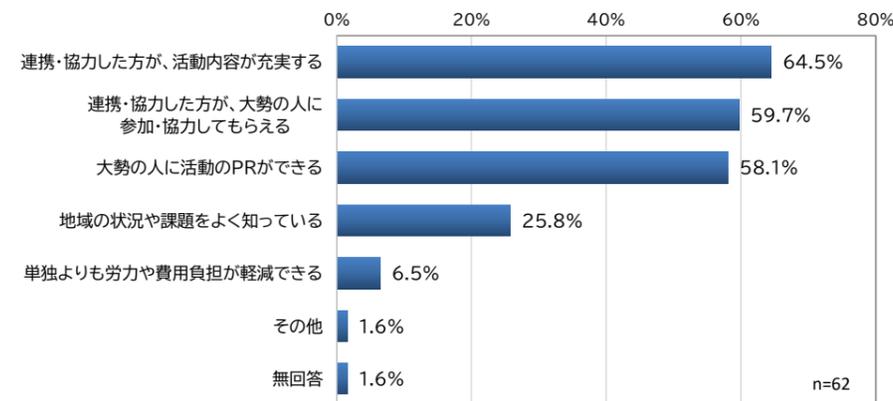
##### ■行政と協働したことがあるか【SA】

- 「ない」が 56.1%、「ある」が 16.7%となっています。



##### ■地域活動団体との連携・協力が必要な理由【MA】

- 「連携・協力した方が、活動内容が充実する」が 64.5%で最も多く、次いで「連携・協力した方が、大勢の人に参加・協力してもらえる」が 59.7%、「大勢の人に活動のPRができる」が 58.1%で続いています。



##### ■市民活動団体が地域活動団体と連携・協力するために必要な取組【MA】

- 「市民活動団体(NPO、ボランティア等)と地域活動団体が交流できる機会」が 34.2%で最も多く、次いで「地域活動団体からの情報発信」が 28.9%、「市民活動団体(NPO、ボランティア等)と地域活動団体が一緒に活動する場」が 21.9%で続いています。

